



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zenancho.or.jp>
E-Mail:zennacho@zenancho.or.jp

↑ 平成28年度 全国統一要約筆記者認定試験結果が発表

平成29年度全国統一要約筆記者認定試験結果が3月13日実施主体に送付されました。全受験者数は手書き602人、パソコン554人の合計1,026人でした。

認定に必要な成績を得た方は手書き161人(合格率27%)、パソコン176人(合格率32%)でした。全国統一要約筆記者認定事業委員会は全難聴と全要研で構成する認定試験事業実施の為の専門委員会です。試験結果の発表は全国の試験実施主体には試験結果とともに同送しています。また、全難聴・全要研のホームページにて8月頃に筆記試験問題、解答用紙、解答例を、実技試験の音源のテーマ、要旨と要約筆記文の参考例を公開する予定です。全国ではまだまだ必要とする要約筆記者の人数が不足していることと考えられます。これからの要約筆記者派遣事業の円滑な推進にご理解とご協力をお願いします。

↑ 平成29年度 要約筆記者指導者養成研修 日程と会場が発表

社会福祉法人聴力障害者情報文化センターから平成29年度厚生労働省委託事業として開催されている本養成研修の開催要綱と開催日程・会場が3月16日に発表されました。

【東日本会場】戸山サンライズ(全国障害者総合福祉センター)東京都新宿区戸山

第1クール 8月26日(土)、8月27日(日)、8月28日(月)

第2クール 10月7日(土)、10月8日(日)、10月9日(月・祝)

第3クール 12月15日(金)、12月16日(土)、12月17日(日)

【西日本会場】全国手話研修センター(コミュニティ嵯峨野)京都市右京区天龍寺弘道町

第1クール 7月7日(金)、7月8日(土)、7月9日(日)

第2クール 9月8日(金)、9月9日(土)、9月10日(日)

第3クール 11月17日(金)、11月18日(土)、11月19日(日)

※本研修への参加は都道府県、政令指定都市、中核市の各障害保健福祉主幹課(室)による推薦が必要です。

主催:社会福祉法人聴力障害者情報文化センター

実施協力:(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

(特非)全国要約筆記問題研究会

後援:(一財)全日本ろうあ連盟・(特非)全国聴覚障害者情報提供施設協議会

※受講者の決定に当たっては従来通り、各都道府県、政令指定都市、中核市の養成事業実施体及び中失・難聴団体、要約筆記団体の受講者の選定協議があります。

📌 全要研 平成28年度厚労省補助金事業報告会 3/12

全要研が平成28年度障害者総合福祉推進事業補助金事業として実施している【厚生労働省カリキュラム準拠テキストにおけるパソコン要約筆記の指導技術を図る検討事業】の報告会が、3月12日東京国際交流館のプラザ平成メディアホールで実施されました。この事業の検討委員会には全難聴よりは新谷理事長、白山要約筆記部副部長が委員として参加しています。今回は1年間の研究活動の報告会であり、検討委員会の佐藤委員長の事業概要報告に続いて、調査研究担当の山岡委員より、詳細な調査研究報告がありました。この研究報告に基づき、現在の「要約筆記者養成テキスト」のパソコン要約筆記関係の改訂検討作業が進められる予定です。

📌 シアター・アクセシビリティ・ネットワーク (TA-net) 第3回シンポジウム 3/20

3月20日、東京都江東区のセゾン文化財団「森下スタジオ」で、英国のステージテキスト代表のメラニー・シャープ氏を交えて国際シンポジウムが開催され、新谷理事長が参加しました。全難聴よりのこのシンポジウムへの参加は、第1回目に引き続き2回目の参加となります。TA-netは、このシンポジウムにあたり「多様な人々に開かれた、観劇サポートシステムの構築に向けた10の提言」を発表しましたが、情報アクセシビリティの進展を求める全難聴の活動と軌を一にするものであり、提言について全難聴としても真摯に受け止めたいと、理事長よりコメントがありました。なお、添付写真の右側スクリーンはパソコン要約筆記、左側スクリーンはUDトークで、UDトークには3人の訂正・確認のためのサポーターが付いていましたが、文字情報を必要とする参加者はほとんど要約筆記スクリーンを見ている印象でした。



※シアター・アクセシビリティ・ネットワーク NPO Theatre Accessibility network

📌 2020年東京オリパラに向けた障害者の文化芸術振興議員連盟 3/24

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」の構成団体として、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の芸術文化振興議員連盟」役員会に事務所林職員が出席しました。役員会では、障害者の文化芸術活動の振興のための「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律案(仮)」について、今国会での早期成立を目指していると報告がありました。この法律が成立すれば、文化芸術を字幕等付きで鑑賞する機会がますます増えるものと期待されています。

👉 耳マーク・ヒアリングループマークのポスターを作製中です。

耳マーク部では急増しているヒアリングループ設置・活用できる場でのヒアリングループマークのポスター掲示用に下記の2つの案を作成しました。

補聴器を使用している方へ

ヒアリングループが設置されています。
補聴器をTモードに切り替えてください。
【T付き耳マーク】は、ヒアリングループの普及・
啓発と補聴器・人工内耳装用者の「きこえの支援」
として作成しました。



【T付き耳マーク】

※このマークは、ヒアリングループに対応した施設、機器を表しています。
※補聴器のスイッチをMからTに切り替えることにより、マイクや音響設備から入った音声のみが明瞭に聞こえます。

補聴器・人工内耳をお使いの方へ



【ヒアリングループ補聴援助システム】

この場所には、補聴器、人工内耳を使用されている方に音声がはっきり聞こえる装置が設置されています。

お使いの補聴器をTモードに切り替えてください。

「補聴器を使用している方へ」のポスターは、主に補聴器取扱店や販売店での啓発用に作成したものです。ヒアリングループの利便性について知らない補聴器ユーザーも多いのが現状です。補聴器を購入される方へ、補聴器取扱店がヒアリングループの機能について説明し、Tモードが使えるように設定や調整をする必要があります。折角、補聴器の中にTコイル内蔵されていても、適切に設定され、機能させなければ、宝の持ち腐れで終わってしまいます。まず、補聴器取扱店・販売店への啓発が必要です。

「補聴器・人工内耳をお使いの方へ」のポスターは、ヒアリングループを設置している施設や会場への掲示用として作成したものです。ループが設置されていることを周知しなければ、Tモード付きの補聴器を使用していても、ループを活用することができません。もったいないことです。これらのポスターについて、改善が必要と思われる点や気付かれたことなどがありましたら、全難聴耳マーク部へお知らせください。また、ポスターの活用については、事務局へお問い合わせください。

📌 「公益目的支出計画」の実行完了

全難聴は一般社団法人への移行に際して、「公益目的支出計画書」を内閣府に提出し、その実行期限が平成29年3月31日までとなっております。最終的な支出内容を3月6日付けで理事会（文書審議）決議し、今回その実行を無事終了しました。本件に係わる加盟協会及び関係諸団体の皆さまのご協力に感謝申し上げます。

📌 理事の動き（3/1～3/31）

- 3月 1日 共用品推進機構 AD 標準化委員会（小川）
- 3月 2日 共用品推進機構第12回理事会（小川）
- 3月 7日 JDF 権利条約推進委員会（国際部）
- 3月 7日 「多様な利用者の円滑な移動支援共同研究」（小川）
- 3月 9日 リハビリテーション協会理事会（新谷）
- 3月 9日 長崎県聴覚障害者情報センター研修会（小川）
- 3月12日 全要研 PC 要約筆記検討委員会報告会（新谷）
- 3月15日 補聴器販売店協会厚労省受託事業委員会（宿谷）
- 3月15日 「補聴器販売者技能向上研修事業等」第3回委員会（宿谷）
- 3月15日 TTC セミナー「バリアフリー社会の実現に向けて」（宿谷・小川）
- 3月16日 公益目的計画・HP リニューアルに関する打ち合わせ（新谷）
- 3月17日 CS 障害者放送統一協議会第71回理事会（新谷）
- 3月17日 オリパラに向けたアクセシビリティ協議会当事者とのWG第8回（小川）
- 3月20日 TA-net 第3回シンポジウム（新谷）
- 3月24日 日本年金機構「ご意見をいただく会」（小川）
- 3月29日 聴力障害者情報文化センター第3回評議会（新谷）
- 3月30日 JDF 幹事会（新谷）
- 3月30日 メディア・アクセス・サポートセンター（MASC）理事会（小川）

📌 事務局報告

- 3月16日 公益目的計画・HP リニューアルに関する打ち合わせ
- 3月24日 オリパラに向けた障害者の芸術文化振興議員連盟（役員会）
- 3月31日 機関誌「難聴者の明日」第175号発行
- 3月31日 全難聴便り No.106 発行

《4月予定》

- 4月 1日 平成29年度体制スタート
- 4月10日 JDF 国際委員会拡大会議
- 4月12日 新国立競技場整備事業施行期間ユニバーサルデザインワークショップ
- 4月15日 平成29年桜を見る会
- 4月17日 中央本部法案策定WG
- 4月17日 平成28年度第3回JIS原案作成分科会
- 4月18日 JDF 災害総合支援本部 報告会
- 4月25日 4団体連絡会議
- 4月28日 全難聴便り No.107 発行
- 4月29日 ACITA との懇談会
- 4月29～30日 要約筆記部員研修